令和5年度シラバス（1年生用）

教科	理科	科目	化学	単位数	2
学年	1年生	コース	共通		
使用教科書	新編 化学基礎（数研出版）				
副教材等	化学基礎・化学問題集（愛媛県高等学校教育研究会理科部会化学部門） 化学基礎・化学実験ノート（愛媛県高等学校教育研究会理科部会化学部門） リブリー（第一学習社）				

1 学習目標と評価の観点の趣旨

学習目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を身に付けるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。		
評価の観点の趣旨と定期考査の配点基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	物質とその変化についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。 定期考査の配点基準（目安） 50%	物質とその変化から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。 定期考査の配点基準（目安） 50%	物質とその変化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

2 学習計画と評価方法

学期	単元	主な学習活動	考査範囲
1 学 期	第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成 ① 混合物と純物質 ② 物質とその成分 ③ 物質の三態と熱運動	<ul style="list-style-type: none"> 化学が生活の中でどのように活かされているか理解する。 物質の性質を調べるために、物質の分類や分離・精製法、物質の状態変化について理解する。 物質を構成する元素とその検出法について理解する。 熱による物質の状態変化について理解する。 	中 間 考 査
	第2章 物質の構成粒子 ① 原子とその構造	<ul style="list-style-type: none"> 原子の構造と各原子の電子配置を理解する。 物質をつくる粒子の量の表し方について理解する。 	
	② イオン	<ul style="list-style-type: none"> 物質は原子、分子、イオンから成ることを理解する。 	期

2 学 期	③ 元素の周期表 第3章 粒子の結合 ① イオン結合 ② 分子と共有結合 ③ 共有結合の結晶 ④ 金属結合と結晶 第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 ① 原子量・分子量・式量	<ul style="list-style-type: none"> 周期律と周期表、元素の性質について理解する。 イオン結合とイオン結合でできた物質について理解する。 共有結合と電気陰性度について理解する。 共有結合の結晶の性質について理解する。 金属結合と金属の性質について理解する。 物質を作る粒子の表し方について理解する。 	末 考 査
	② 物質 ③ 溶液の濃度 ④ 化学反応式と物質 第2章 酸と塩基の反応 ① 酸・塩基 ② 水の電離と水溶液のpH	<ul style="list-style-type: none"> 物質の単位の扱い方を理解する。 濃度とその量的関係について理解する。 化学反応によって起こる量的な変化について理解する。 酸と塩基の性質と電離度について理解する。 水の分子もわずかに電離して、水素イオンと水酸化物イオンを生じていることを理解する。 	中 間 考 査
	③ 中和反応と塩 ④ 中和滴定 第3章 酸化還元反応 ① 酸化と還元 ② 酸化剤と還元剤	<ul style="list-style-type: none"> 酸と塩基を中和させると塩が生成することを理解する。 中和滴定の操作と量的関係について理解する。 酸化と還元の定義と酸化数について理解する。 酸化剤と還元剤とその反応について理解する。 	期 末 考 査
3 学 期	③ 金属の酸化還元反応 ④ 酸化還元反応の利用 電池・電気分解	<ul style="list-style-type: none"> 金属のイオン化とイオン化傾向について理解する。 酸化還元反応が日常生活において多く利用されていることを理解する。 電池について理解する。 電気分解とその利用について理解する。 	学 年 末 考 査
<p>各学期の観点別学習状況の評価の方法</p> <p>知識・技能＝小テスト、定期考査、授業発表、ノートの記述、実験プリントの記述 思考・判断・表現＝小テスト、定期考査、授業発表、ノートの記述、実験プリントの記述 主体的に学習に取り組む態度＝出欠状況、授業態度、観察・実験の態度、ノート等の整理状況</p> <p>学年末の評価の方法</p> <p>各学期の成績から算出して観点別学習状況評価と評定を出します。</p>			